

平成28年度 北海道滝川高等学校定時制課程 年度末反省会議資料(総務・進路部)

領域番号	目標	本年度の具体的方策	評価平均	分掌平均	達成度評価			分掌・係としての達成度評価についての自己分析	達成のための取組方法の改善や開始時期について
					Aの個数	Bの個数	Cの個数		
総務・進路部	1	各分掌や全日制と連絡調整に努め、行事を円滑に実施できるよう努める。	3.4	3.4	6	3	0	各分掌、全日制の協力により、大きなトラブルが生じることもなく実施することができた。必要な業務を適切な時期と内容で進めるように心掛けて取り組んできた。残りの行事も遺漏のないように進めていきたい。	これまでの反省点や曖昧だったことを少しずつ改善してきた。担当業務の内容を記録しておき、その都度、反省点や改善点をすぐ次年度用の資料に反映しておくことで、次年度の担当者がスムーズに業務を行えるようにしてきた。
	2	機能的な学校運営を図る。	3.4		7	2	0	議事録作成の協力を感謝いたします。	今年度の状況をもとに、来年度の年間行事予定のなかで分掌部長会議と職員会議の日程を各分掌と調整・確認をしていく。
	3	見学旅行・修学指導事業の計画・実施の円滑化を図る。	3.3		4	5	0	修学指導事業は10人未満であったが、例外的に実施することができた。来年度以降は10人未満の場合は次年度に合同実施となる。来年度の見学旅行の業者選定については、現在調整中である。	次年度の修学指導事業については予約済みである。2月中に平成30年度の日程申込み依頼が届くので、届き次第、職員会議の審議にかけたい。見学旅行については、次年度以降は「見学旅行委員会」が主体となるので、委員の一員として調整にあたっていきたい。
	4	各分掌や教科担任と連携し、教務支援システム等を利用することで資格検定取得状況を把握する。	3.4		2	6	1	教務部主幹の「学力向上講座」や各教科担当及担任に一任している状況である。	学力向上講座も充実してきているため、教務部と協力し組織的かつ継続的な指導体制を検討する。
	5	自己理解を深めさせ、資格の取得や能力・技能の伸長に意欲をもたせる。	3.2		5	4	0	空知教育局の進路相談員の進路講話と卒業生の進路講話を組み合わせて年間4回の進路講話の実施を予定していたが、今年は年内に卒業生の進路先が確定したので、12月に全学年合同の進路講話を実施した。	来年度は空知教育局の進路講話の実施内容を見直し、関係機関と連携した新たな取組を模索するなど内容の充実を検討したい。
	6	「進路通信」を発行し、日頃の指導の中でも生徒に呼びかける。	3.4		5	4	0	空知教育局が発行する「進路だより」や「進路通信」を配布し、進路目標達成に向けての準備や道内の高校生の就学、就職状況、『SPI3』等就職試験の対応方法や本校の進路決定状況を周知した。	今後も「進路だより」や「進路通信」を通じて、進路決定に向けての情報提供やインターシップの体験を進めていきたい。
	7	生活体験発表の取り組みを通して自分の成長・変化を理解させる。	3.4		7	2	0	改善を進めてきており、来年度には改善の目途がつくと思われる。	来年度は改善してきた形式で行う空知地区大会の当番校なので遺漏のないように準備、実施していきたい。
	8	「進路のしおり」を活用し、キャリア教育の充実を図る。	3.2		4	5	0	進路目標達成に向けて、年間計画及び手続等を記載した「進路のしおり」を作成した。	次年度も「進路のしおり」の内容充実に取り組み、積極的に活用したい。
	9	個に応じた進路情報の提供及びキャリア教育の推進を図る。	3.3		5	4	0	進路希望調査を実施し、進路面談を2～4年生は5月、1年生は12月～1月に実施を予定したが、インターシップの相談も兼ね個別に進路相談を行うような状況であった。	進路希望調査や進路面談の記録を活用し、担任と連携をとりながら進路指導を進めたが、本年度は年内に卒業予定者4名の進路を決定することができた。来年度も合同企業説明会等の参加を促すなど個別面談等を活かしたい。
	10	主に長期休業を活用してのインターシップを実施する。	3.7		6	3	0	今年度のインターシップは、1学年6名、2学年5名が生徒自ら企業先を見つけての体験やしごと発見フェアや自衛隊体験入学等、積極的にインターシップに参加した。	在学中に1度はインターシップを体験する体制を整えていきたい。
	11	ハローワークと連携し、生徒に適合する就職先の開拓に努める。	3.3		4	5	0	ハローワークとの連携、高卒求人サービスの活用、担任の協力により、就職を希望する生徒の要望に柔軟かつ迅速に対応することができた。面接指導も多くの先生方の協力により効果的に行うことができた。	次年度もハローワークとの連携を密にして早い時期の進路決定に結びつけたい。
	12	学資金、奨学金・教育ローンを有効活用できるよう情報提供に努める。	3.3		5	4	0	今年度の学資金は2名の生徒が利用した。入学生へのアピール、学校諸納金の滞納防止、就労と学業の両立を進めるためには有用な制度であると思われる。奨学金は本年度は1名が日本学生支援機構奨学金1種に採用内定した。	希望する進路や家庭状況の変化にも対応できるように、今後も随時、情報提供を進めていきたい。
	13	P T A ・定通振興会と望ましい連携関係を取れるよう努める。	3.3		3	6	0	P T A は全日制、定通振興会は滝川市役所、滝川商工会議所の協力により、問題なく進めてくることができた。	P T A 総会（4月22日）、定通振興会総会（4月11日入学式後）に向けて早めに準備を進めていきたい。
	14	広報「まほろば」・学校HPを活用し、保護者への情報提供に努める。	3.3		3	6	0	広報については全日制に負うところが大きいので、できるだけ早めに対応するように心掛けてきた。	広報、学校ホームページの原稿依頼がある際には、ご協力をお願いします。学校ホームページのカウント数の増加は1か月にいたい200台の数となっている。毎月の話題提供は続けていきたい。
	15	給食を通して食に関する指導を行う。	3.6		5	4	0	落ち着いて摂食をしているように見られる。毎日、早めに来て摂食している生徒は学校生活も安定しているように思われる。	ほとんど摂食しない生徒もいるが、玄関指導の協力により摂食を促していただけることで効果が出ているように思われる。今後も生徒への啓発を声掛けや「給食だより」で行ってきたい。
その他、分掌として他の分掌や管理職に求める事項等									